

# 変わりゆくアフリカの身体加工と 廃絶運動の現在 女性器切除という慣習

アフリカなどで文化や慣習、宗教の名のもとに行われてきた女性器への身体加工は、「女子割礼」(FC : female circumcision)、「女性器切除」(FGM : female genital mutilation)、「女性器カッティング」(FGC : female genital cutting)とも呼ばれ、1970年代から国際的な廃絶活動が行われてきました。しかし現在でもその廃絶には至っていません。この講演会では、「女性器切除 / 女子割礼」(FGM/FC) に対してグローバルに展開されている廃絶運動がはらむ矛盾や問題点について、ケニアの3つの社会の事例からお話しします。

## 中村 香子 東洋大学准教授

「女子割礼・女性器切除のローカル社会における意味づけと廃絶運動に対する反応：  
ケニア・牧畜社会の事例から」

## 林 愛美 大阪府立大学客員研究員

「東アフリカにおけるローカルな FGM/C 廃絶運動について：ケニア西部のマサイの事例から」

## 宮地 歌織 佐賀大学客員研究員

「多様化する FGM/FC：ケニア・グンイ社会から見えてくる女性の身体をめぐる課題」

### コーディネーター

宮脇幸生（本学教授） / 内藤葉子（本学准教授）

申込方法：女性学研究センター WEB サイト、  
または下記の QR コードからお申し込みください。

参加費：無料

申込締切：7月14日（水）17時まで

定員：100名（先着順。締切以前でも定員に  
達し次第締め切らせていただきます。）

お問合せ先：女性学研究センター

<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/w-center/>

Zoom のミーティング・アドレス、ID、パスコードを  
7月15日（木）にお知らせいたします。この日にメール  
が届かない場合、7月16日（金）16時までに女  
性学研究センターにご連絡ください。



**7.17 SAT**  
**13:00 - 16:00**

**オンライン開催**  
**(Zoom 利用)**